

《プログラム》

時間	項目	動き				備考
		運営スタッフ	コーディネーター	ゲスト	学生	
前日	会場設営	会場教室の使用状況、備品・設備を確認 ・丸テーブル・椅子配置 ・スクリーン・プロジェクター・PC配置 ・案内板設置 ・教室入口にポスター掲示				
10:00	運営スタッフ集合	集合(事業担当者11名) 受付設置 控室設営 会場設営(模造紙、ボスカ、付箋、サインペン、BGM)				
11:00 ～13:00 (控室)	11:00～11:30 打ち合わせ1	・レイアウト、備品の確認 ・達成目標の確認 ・時間配分 ・トーク重視、配布資料・スライド資料				運営スタッフの昼食は適宜とる 控室はゲスト・コーディネーターの荷物置き場、ただし貴重品は身につけていただくようにする
	11:30～12:30 打ち合わせ2 12:30～13:00昼食	・時間配分(各自の持ち時間) ・トークセッション、ワークショップの進め方についての確認				
12:30	受付開始				・名札、付箋を受け取り、自由に着席。 ・送迎バス12:15着((9名利用)	
13:00	オリエンテーション	司会 ・写真撮影のお断り				
	開会挨拶	事業・企画説明				
13:05		コーディネーターに運営を交替。	・流れ説明 ・ゲスト紹介 ・ルール(よく話す、よく聞く、批判しない)、ルール、ゴール(目標)を共有。 ・ルール:学生＝参加者、ゲスト＝ホスト、運営スタッフ・見学者＝見守り隊の説明 ・付箋にゲストの話を聞いて気づいたことを記入(棟方さん＝ピンク、小泉さん＝黄色、小川さん＝ブルーの付箋に記入、3枚以上目標)			・女社会/男社会のそれぞれの職場の特徴、エピソード ・職場の人間関係(同僚・先輩・上司) ・WLBの実現でのやりにくさ・よかったところ・・・など ⇒第2部でテーマになりそうなキーワードの頭出しができるとうい
13:12	第一部トークセッション			棟方さんのトーク ・職場の実態:26名の職員、男性は3人(バス運転手、事務)、年齢層の幅広さ。 ・長所:出産しても働ける、母親目線で悩みを聞ける、あたたかい雰囲気、年齢層が広いので相談できる、休める雰囲気がある。 ・短所:仕事の持ち帰りがある、女性特有の人間関係。 ・力仕事(テントはりなど)には男性の力がいる。 つらかったこと:「先を見て仕事をしろ」と言われたが分からなかった、1年で辞めるつもりだったが3年目になって自分のカラーを出せるようになり、現在12年目になる。 ・これまでは実家にいて母が家事をしてくれたが、去年結婚した。夫の理解、協力がいる。 ・いろいろなことを乗り越えられたのは、いい先輩に出会えてことが大きい。	ゲストの話を聞く トーク後、付箋記入時間2分。	
13:23				小泉さんさんのトーク ・自己紹介(保健大の卒業生、社会人になって半年) ・職場:病棟に30人のスタッフ、男性は2人、管理職もみな女性。男性の先輩は勤務がかぶることがないので、女性に囲まれている。プリセプターも女性。 ・思ったよりも女社会は意識せず働いている。 ・先輩への礼儀、気遣いは気をつけている。 ・ホウレンソウ:女性には聞きにくかったが、聞けるようになった。 ・人間関係:うすうす感じることはあるが、関係なく仕事している、女社会のいられキャラ。 ・ワークライフバランス:日勤と夜勤。プライベートは充実している(仙台は都会で遊べる)、仕事で中の勉強ができない(たとえば患者が飲む薬は知らないといけないが、調べる時間がないので、仕事の後で調べる)。休みの日も2.3時間は勉強している。学校で学んだことだけでは行動できない。 ・女社会だから、というのではなく、ひけをとらずに頑張っていきたい。	ゲストの話を聞く トーク後、付箋記入時間2分。	
13:37				・自己紹介:青森市出身、仙台の大学で経営について学び、仙台の学習塾に3年、青森市に戻り実家の測量会社に経理事務として入り、11年後に父の後を継ぐ。 ・職場:ほとんど男性28人中、女性は2人のみ(経理事務)。かつては35人ほどいて女性の技術職の人もいた。 ・コミュニケーションをとるのが、仕事の中で重要。気を使わずにフラットに話す。どう聞けば技術職の人が話してくれるか(建設業はシャイな男性が多い)工夫がいる。 ・年に2回面談することにしたら、4年続けて話す内容が変化してきた(仕事のことだけ→家族や生活のはなしも) ・専務とぶつかったことはあった。 ・むしろ女性であってよかった、と今は思う。	ゲストの話を聞く トーク後、付箋記入時間2分。	

13:52			コーディネーターからゲストに質問①社会に出て大切にしていること。	○棟方さん：人として笑顔、礼儀が大事。まちなかで子どもに会うこともある、いるどこでも恥ずかしくない自分である。当たり前なことでもなかなかできない ○小泉さん：自分らしさを変えずに努力する。センスがないので積み重ねる努力をしてきた。いい自分と悪い自分のバランスをとる。 ○小川さん：信頼を得る行動をする(つきあい、人間関係、ホウレンソウ、挨拶)。次の仕事のために、この人とまた会いたいと思ってもらえるような行動。	・各自付箋に書く	
			コーディネーターからゲストに質問②ガクッと落ち込んだこと。	○小川さん：専務とぶつかって泣いた(人前では泣かない性格だが) ○小泉さん：プリセプター面談で、自分ではなおしたつもりの方が変わってないと思われていた。 ○棟方さん：最初、何がなんだかわからない状態で頑張っても追いつかない自分に落ち込んだ。		
14:00			コーディネーターからゲストに質問③ストレス発散は？	○小川さん：バンド活動を続けている。仲間と飲む。 ○小泉さん：サーフィンを数回。おいしいお酒。 ○棟方さん：ディズニーランドに行く(ここ10年ほど友人と一緒に)。自分は仕事人間で休みを余らしてしまう。		
14:02	休憩、第2部設置	お茶、お菓子持って行くよう指示。			テーブル3つにゲストと参加者着席。 (聞きたいゲストのところへ自由に着席)	
14:10	ワークショップ (ワールドカフェ方式) ①ゲスト=ホストで質問タイム		・ゲストの左側にいる人からスタートする。自己紹介しながら、付箋を模造紙に出していく。一回りしたら、質問タイム。ぶっちゃけトークをどうぞ。 ・12分ごとにゲストのテーブルを移動。 ・コーディネーターが手をあげているのに気づいたら、手をあげる。全員気づいたら、移動。			
14:23			テーブルの2,3人ずつ別のテーブルに動くよう指示。同じように自己紹介から始める。		席替え1	
14:35		お菓子のカラ入れ用のごみ箱を折って各テーブルに置く。	まだ行っていないテーブルに行くよう指示。同じように自己紹介から始める。		席替え2	
14:47	質疑応答	3テーブル設置。	ゲストは前に来るよう指示、1分で参加者からの質問にコメント。 ゲストごとに模造紙にまとめた質問を見ながら。	○小泉さん：休みの日の勉強は小さいことから。 ○小川さん：素の自分を出すこと。気を使いすぎるのではなく、相手にとって不快でない自分を。 ○棟方さん：先を見て志戸子、行動する。メモを取る。準備と見直し。1年しがみついたら、カラーが出せる。	各テーブル4人ずつ着席。	
14:54	②自分の考えを深める		付箋に、「自分が社会に出て、大切にしたいもの」を書き出す指示(3分)。 3分経過したら手をあげる。	各テーブルを回る	初めの席に戻る 付箋に記入	
14:57			一人ずつ、A4の紙の上部に枠をつくり、「どんな社会がいい」かを記入するよう指示。3分。 紙の下部には、自分の書いた付箋を貼る。 「書けたらお菓子を食べて待っていて」(書いている人にプレッシャーを与えない配慮)			
15:05	発表		テーブルの全員が書き終わったら、自己紹介しながら、自分がA4の紙に書いた「どんな社会がいいか」「自分が社会に出て大切にしたいもの」を発表して、テーブルごとに共有するよう指示。10分			
15:15	共有		全体で共有するため、自分の書いた紙をテーブルにおいて、他のテーブルの人のものを見に行く。 一周したら元のテーブルに戻って「お菓子食べて」			
15:15	感想(学生)		参加者に「いろんな社会があったと思いますが、どう思いますか」と感想をふる(マジックをマイクに見立てて、指名。発言後、別の参加者2名に見立てマイクを回させる)		参加者3人？発表。自分の書いたもの、皆が書いたものを見てどう思ったか。働きやすい社会がいいなど。	
	ゴール・発見(学生)		参加者に今日のゴール(気づき、発見)を聞く。別のテーブルに見立てマイクを回す。		・学生1の考えを聞いて良かった(2年生の参加者) ・求めているものは違う、自分に思いつかないことが書いてあった。将来に活かしたい。 ・GWでみんなすごいアセスメントしていた。自分でも考えて行動していきたい	

	感想(スタッフ)	どんな社会をつくりたいか、自分も思い描いていた。皆さんと違う内容だったが、皆さんの書いたものを見て心強く思った。こういう社会になればいいと思う。	見守り隊に見立てマイクを回す。			
15:22	感想(ゲスト) ※学生へエール		最後にゲストからエールをお願いします。	○棟方さん:アクティブラーニングを保育園でもやっている。与えられた24時間は皆同じだが、どう使うかは自分次第で変えられる。仕事だけでなく遊び、それが仕事に活かせることもある(ディズニーの色使いなど)。 ○小泉さん:自分は才能がなくともここまでこれた。少し母校に恩返しができた。何者でなくても、社会人になれる。みんなが書いたすごい人生観は、きれいごとと言われるかもしれないが、もっと本気で行動できればきれいごとと言われなくなるかもしれない。 ○小川さん:これまでの苦労やつらかったことは後で経験していてよかったと思う。困ったときは頼ってください。		
15:30	まとめ		まとめ ・女社会＝男社会、男女関係なく実力が発揮できる社会 ・自分らしさ、大切にしていること(自分がどんな人か、どんな価値観を持っているか)があれば、自分軸であるのでつらいことも乗り越えられる。 ・今ここにいる人のネットワークを大事にして。たまに社会を批判したい			
15:33		ゲスト・コーディネーターにお礼 アンケート記入指示 閉会挨拶・次回予告 アンケート回収 送迎バスの時刻案内			アンケート記入・提出	
15:33 ～16:00	事後振り返り	ゲスト、コーディネーター、事業担当者で当日運営についての振り返り、評価				